



感染症に対して強靱な社会を実現 コロナ収束後の跳躍に向けて

コロナ禍により生じた生活や社会の急激な変化に対応しつつ、命と生活・経済を両立し、また収束後の反転攻勢に向けて備えるため、感染症対策や経済再生対策などを引き続き進めていきます。

山梨県CDCを設置し 感染症対策の司令塔に



結核やインフルエンザなどの情報もサイトで発信

これからは、新型コロナウイルスに次ぐ新たな感染症にも対応できる社会となることが求められます。

昨年4月に設置した感染症対策センター（山梨県CDC）は、コロナ対策の司令塔として、感染状況などの分析や情報提供・注意喚起、医療提供体制の整備・調整などを行ってきました。昨年10月には「やまなし

感染症ポータルサイト」を開設し、さまざまな感染症に関する情報を一元的に発信しています。

今後は、これまでの対応で明らかとなった課題の検証や知見の蓄積、人材育成や衛生物資の備蓄などにより、有事の際の対応体制を整え、感染症に対し強靱な社会づくりを進めていきます。

進化を続ける グリーン・ゾーン認証制度

県は、やまなしグリーン・ゾーン構想の下、県民の生命と経済を両立させながら前進し続けることができ「超感染症社会」の実現を目指しています。中でもグリーン・ゾーン認証制度は、全国で同様の制度が導入され、全国知事会が選ぶ先進政策バンクの総合部門最優秀賞に輝くなど、高い評価を得ております。また、令和2年2月以降のコロナ関連による企業の破綻比率が全国最低水準だったとの民間会社の調査結果など

からも一定の成果が見て取れます。現在は、日常生活の回復を目指した、ワクチン接種証明書などを提示した方による宴会の開催や、インバウンド観光再開を見据え、国際的に信用されるワンランク上の認証基準構築に向けた、最新の感染対策技術・製品の効果測定といった実証事業を行っています。

今後も県内の感染状況を注視しつつ不断の見直しを行い、この認証制度をより安心でグローバルなものに進化させていきます。



空気除菌ロボットの効果測定



宴会場でワクチン接種証明を確認する実証実験

リカバリー・メニューで 県内経済を再生

県は、飲食や観光の需要喚起策を中心とした「リカバリー・メニュー」を展開し、県民の皆さんの生活の再建や県内経済の再生を目指しています。

リカバリー・メニュー（一例）

- ① 飲食店とその関連産業の再生
 - キャッシュレス決済によるポイント還元やプレミアム食事券発行で飲食需要を喚起
 - 運転代行業者が行う感染防止対策への助成や酒類販売事業者への支援金給付
- ② 冬に向けた観光需要の創出
 - 「やまなし冬のプレミアムツアー」*の認定と、同ツアーを開催する事業者への助成
- ③ 文化芸術活動や地域の賑わいの復興
 - アーティストが行う舞台公演や作品展示に必要な施設利用料を助成
 - 商店街などが行う、販売促進・消費拡大につながるキャンペーンやイベントへの助成

*県が定める認定基準（これまであまり取り上げられてこなかった観光資源や体験などを取り入れたプレミアム感のある旅行商品であることなど）を満たす旅行商品